

# 家庭学習の手引き

白鷹町学校教育研究所

	小1・2年	小3・4年	小5・6年・中1年	中2・3年
宿題から自学への円滑な接続	◆宿題を確実に ○家庭の協力を得て、家庭学習の習慣を身に付ける。	◆宿題+自学(復習) ○学級担任の助言で、家庭学習の時間帯を決めて取り組む。	◆宿題+自学(復習、発展、予習) ○教師の助言で、発展問題にも取り組む。 ○ドリル、応用問題、苦手克服のための学習を行う。	◆宿題+自学(復習、発展、予習) ○各教科に合った学習のし方を知り、自分の課題を見つけて主体的に取り組む。 ○授業→復習(予習)のサイクルを身に付ける。
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>これを活用!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学习の手引き</li> <li>・チェック表(頑張りカード・音読カード・生活記録ノートなど)</li> <li>・みんなのノートやノート展示</li> <li>・先生からのアドバイス</li> </ul> </div> <p>※学校の指導(励ましのコメント・よい例の紹介・学習強調週間の設定) ※家庭の協力(宿題の確認・見取り・声かけ・励ましのコメントなど)</p>			
めざす姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅したら決まった時間に学習する。</li> <li>・復習を中心に家庭学習を進め、学校で学習した内容を正しくしっかりと覚える。</li> <li>・自学にも挑戦する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな本を読もうとする。</li> <li>・わからないことを教師や家の人に聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自学の進め方(学習内容と方法)を知り、時間帯を決めて継続して学習する。</li> <li>・自分で答え合わせをして間違いを直す。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書の習慣を身に付け、いろいろなジャンルの本を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読み直したり、ノートを見直してもう一度解いたりして復習する習慣を身に付ける。</li> <li>・ワークなどを活用し、学習した内容が定着したかを確認する。</li> <li>・教師の助言で、発展問題に取り組む。</li> <li>・教科のバランスを考えて学習する。</li> <li>・視野を広げるために複数</li> <li>・わからないことを調べたり、質問したりするなど、苦手克服のための努力をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やノートのメモを活用しながら授業を振り返り、復習する習慣を身に付ける。</li> <li>・練習問題に積極的に取り組むなど、学習内容を定着・発展させるために取り組むべき課題を見つけ努力する。</li> <li>・次時の学習内容に目を通すなど、必要な予習を行う。</li> <li>・知識を広げ、考えを深める目的で本を読む。</li> </ul>
時間	★最低でも10分×学年			★平日90分
態度	★ながら勉強をせず、集中して学習する			★宿題を確実に提出する
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲をもって取り組めるように、家庭の理解と協力を得る。</li> <li>・授業の様子を適宜伝えるなど、家庭と綿密な連絡をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で取り組めるように手立てを工夫し、家庭の理解と協力を得る。</li> <li>・自学ノート等で具体的に助言し、励ます。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な取り組みができるよう、提出期限を設けた宿題の出し方を工夫する。(小5・6)</li> <li>・各教科から出される宿題を確認し、1日の量が多くなりすぎないように配慮する。(中1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態に合わせて発展的な家庭学習支援と基礎的基本的な知識の定着を目指す支援を行う。</li> <li>・検定にチャレンジすることを勧めるなど、自分に必要な学習課題を見極める力を付けさせる。</li> <li>・生活ノート等で、目標記録達成を目指して励ます。</li> <li>・学年、教科担任、部活動顧問との共通理解のもと、学習支援を行う。</li> </ul>